

令和2年度 第1回田原市地域公共交通会議会議録

会 議 名	[第54回]令和2年度 第1回田原市地域公共交通会議
開 催 日 時	令和2年6月29日(月)14:10～16:10
開 催 場 所	田原市役所 講堂(南庁舎6階)
出席者氏名 (敬称略)	<p> (委員) ○田原市副市長 鈴木 正直[会長] ○田原市都市建設部長 稲垣 守泰[副会長] ○豊鉄バス株式会社常務取締役営業企画部長 坂本 直也 ○豊鉄ミデイ株式会社取締役支配人 田辺 征也 ○渥美交通株式会社代表取締役 鈴木 雅 ○公益社団法人愛知県バス協会専務理事 小林 裕之 ○愛知県タクシー協会豊橋支部長(豊鉄タクシー(株)取締役社長) 若林 亨修 ○豊橋鉄道株式会社代表取締役社長 小笠原 敏彦 ○田原市老人クラブ連合会長 光部 泰弘 ○田原市地域コミュニティ連合会長 渥美 昌彦[監事] ○田原市商工会工業部会長 天野 英一郎[監事] ○一般社団法人田原青年会議所理事長 河合 真樹 ○田原市民生児童委員協議会主任児童委員 山下 葉子 ○国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官 鈴木 隆史 ○豊橋鉄道労働組合中央執行委員長 長坂 和俊 ○愛知県振興部交通対策課主幹 (代理)課長補佐 石川 貴康 ○愛知県田原警察署交通課長 合原 俊信 ○愛知県東三河建設事務所維持管理課長 山口 泰志 ○名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤 博和[副会長][議長] ○渥美半島観光ビューロー事務局長 長神 友昭 (事務局) <input type="checkbox"/>都市建設部街づくり推進課長 小久保 智宏 <input type="checkbox"/>都市建設部街づくり推進課 課長補佐兼都市政策係長 折戸 裕美 <input type="checkbox"/>都市建設部街づくり推進課 都市政策係主査 彦坂 洋二郎 <input type="checkbox"/>都市建設部街づくり推進課 都市政策係主事 田中 裕崇 </p>
欠席者氏名 (敬称略)	<p> ○東海北陸旅客船協会(伊勢湾フェリー(株)取締役社長) 福武 章夫 ○豊橋技術科学大学建築・都市システム学系助教 松尾 幸二郎 </p>

報告事項	(1) 役員の選任について ①副会長2名 ②監事2名 (2) 令和元年度田原市公共交通利用者実績等について (3) 第2次田原市地域公共交通戦略計画(地域公共交通網形成計画)における実施計画に関する令和元年度の主な取組について (4) 豊鉄バス伊良湖本線支線のダイヤ変更及びバスロケーションシステムの導入について (5) 田原市大規模災害時公共交通行動方針の策定及び交通事業者との大規模災害時における支援に関する協定の締結について (6) 新型コロナウイルス感染症対応田原市公共交通確保維持支援事業について		
協議事項	(臨時)公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて → 承認 (1) 令和元年度事業実績・収支決算(案)について → 承認 (2) ぐるりんバスサンテパーク線の一部ダイヤ変更について → 承認 (3) 田原市生活交通確保維持改善計画(案)について → 承認		
会議の要旨	以下のとおり。	傍聴者	0名(記者0名・随行者3名)
会長 (副市長)	<p>[1 会長挨拶]</p> <p>皆様こんにちは、副市長の鈴木でございます。</p> <p>ここにおいで委員の皆様方におかれましては、日頃、田原市の公共交通に関しまして、ご尽力いただき、誠にありがとうございます。また、本年度から新たに委員に就任していただいた方々につきましては、お引き受けいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>昨年を振り返りますと、田原市ぐるりんバスの路線変更を行い、豊鉄バスにつきましては、伊良湖支線を1便増便し、病院からの帰りの足を確保するなど、交通会議の皆様のご協力のもと、多くの変更を実施してまいりました。また、本市では、市内在住の高校生への路線バス通学定期の3割助成も昨年9月から実施しております。</p> <p>新型コロナウイルスの影響による3月からの外出自粛により、市内の公共交通利用者数も大幅に減少しております。6月以降は学校の再開により利用者数は、少しずつ戻ってきているかと思いますが、まだまだ厳しい状況かと思っております。</p> <p>本日の報告事項(6)「新型コロナウイルス感染症対応田原市公共交通確保維持支援事業について」でも説明いたしますが、本市でも東三河地域の自治体と連携して、地域公共交通を維持・確保するための支援策を講じております。</p> <p>今後も地域公共交通の維持・確保ができるよう、委員の皆様と一緒に、取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の協議事項は、「令和元年度事業実績・収支決算(案)について」をはじめ、合計3つの協議事項となっております。スムーズに会議が進行できますようにご協力、また慎重審議をよろしくお願いいたします。以上で、挨拶とさせていただきます。</p> <p>[2 報告事項]</p> <p>(1) 役員の選任について ①副会長2名 ②監事2名 ※会長から役員選任の報告</p>		

<p>会長 (副市長)</p>	<p>副会長 稲垣守泰委員(田原市都市建設部長) 副会長 加藤博和委員(名古屋大学大学院環境学研究科教授) 監 事 渥美昌彦委員(田原市地域コミュニティ連合会長) 監 事 天野英一郎委員(田原市商工会工業部会長)</p> <p>※会長から議長の指名 議長 名古屋大学大学院加藤教授</p> <p>(2) 令和元年度田原市公共交通利用者実績等について ※事務局より説明【資料1】</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>ぐるりんバスの路線で特に良い路線やあまり良くなかった路線はありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ぐるりんミニバス表浜線が一番大きく伸びております。要因といたしましては、高齢者の免許返納パスの利用者数が年々増加しており、免許返納パスの利用期間は1年となっておりますが、利用期間を過ぎても同じバス停で現金・回数券利用が増加している事例もありますので、利用者の定着に繋がっていると考えられます。</p>
<p>渥美委員 (コミュ会長)</p>	<p>平成30年度と令和元年度を比べると運賃収入が大きく増加していますが、利用者数はそれほど増加していません。何か要因はあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>運賃収入については、中学生が利用するサンテパーク線の定期券の増加や70歳以上の高齢者の外出支援のために高齢福祉課で交付している、バスやタクシー券の助成の中に、ぐるりんバスの回数券を入れてもらっており、その実績が伸びていることも要因となっております。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>それでは、ここで各運行事業者様から令和元年度の実績と新型コロナウイルス感染症の影響について報告をお願いします。</p>
<p>坂本委員 (豊鉄バス)</p>	<p>2月末から影響が出始めまして、4月は定期券の販売が半分になり、5月は6割減少しました。6月に入りまして、少しずつ利用者が戻り始めていますが、それでも3割減少しております、原因といたしましては、大学の休校により大学生の利用者が戻らないということと、高齢者の外出の自粛や宴会の帰りなどの夜の利用者が減っていることが原因となっております。利用者が少ないので減便した方がいいんじゃないかという意見もありますが、減便すると密の状態が増えてしまうため、難しいところとなっております。</p> <p>令和元年度の伊良湖本線支線の実績については、毎年、6月に行う乗降調査から算出した数字でございまして、昨年度より増加しておりますが、これは、豊橋市内での利用者が増えたことが要因となっております。田原市内では減少傾向が続いており、沿線の学生数の減少が主な要因と考えられます。しかし、昨年9月から実施していただいている高校生の通学定期補助により通学定期の実績が増加しております。</p> <p>感染防止対策としましては、乗務員・係員のマスク着用や手洗い・うがい等の励</p>

<p>田辺委員 (豊鉄ミデイ)</p>	<p>行、車内の換気や除菌、最前列座席の利用制限、運転席周辺に飛散防止シートの設置をしております。</p> <p>高速バスは、7月から再開する予定ですが、感染防止対策により40人乗りのバスが17人しか乗れないという状態となっております。収支は合うのか不安ではありますが、再開することでお客さんに戻って来てもらうことが大切だと考えております。</p> <p>先程、事務局から実績について説明がありましたが、ぐるりんバスについては、新型コロナウイルスの影響があっても、移動手段のない方のために走らせる必要がある路線だと考えております。感染防止対策については、豊鉄バスさんと同様の対策を行っており、運転手等の健康管理には十分注意しながら運行を行っております。また、先程、説明のあった運賃収入の補足ですが、野田線がサンテパルク線になったことにより、運賃が100円から200円になっておりますので、その影響もあるかと思っております。</p>
<p>鈴木委員 (渥美交通)</p>	<p>タクシーについては、2月から影響が出始めまして、3月で前年比43%減、4月で55%減、5月で65%減となっております。そのときの田原の街は、夜の7時が夜中の11時のような状態となっております。6月に入って客足は少しずつ戻ってきてはおります。感染防止対策としては、乗務員は手洗い・うがいの徹底、マスクの着用、換気等を行っております。</p>
<p>若林委員 (豊鉄タクシー)</p>	<p>令和元年度の実績については、4月から3月までの実績は、前年の売上比91.3%となっております。3月はコロナの影響により前年比67.0%でした。4月は前年比38.6%、5月は前年比37.3%という状況となっております。6月からは少し戻ってきておりまして、前年比約50%となっております。対策としては、稼働調整をしております。4月は稼働台数85.8%、5月は65.4%と休業を増やしており、それに対する雇用調整助成金をいただいている状況です。</p> <p>感染防止対策としては、渥美交通さんと同様に乗務員は手洗い・うがいの徹底、マスクの着用、換気等を行っております。</p>
<p>小笠原委員 (豊橋鉄道)</p>	<p>渥美線につきましては、令和元年度の利用者数は微増しておりますが、やぐま台と豊島が微増、神戸と三河田原が微減となっております。最近の渥美線全線の状況ですが、収入ベースで3月は前年比75.4%、その内定期外が67.4%ということで、定期外の落ち込みが大きくなっております。4月は前年比43.4%、定期外は33.8%、5月は前年比48.2%、定期外は34.7%となっております。6月からは学校の再開に伴い、定期の購入が増加しました。このような傾向は親会社の名古屋鉄道と同様になっております。また、田原市のサイクルトレインの利用者数は、令和元年度は前年比で92.5%となっております。感染防止対策としては、HPにも公開しておりますが、他の事業者さんと同様に車内の換気や新豊橋でのアルコール消毒液の設置、つり革や手すりなどの車内消毒やマスクの着用、ポスターや車内放送による注意喚起等を実施しております。</p>
<p>事務局</p>	<p>伊勢湾フェリー(株)については、本日欠席となっておりますので、聞き取りした概要を報告させていただきます。新型コロナウイルスの影響につきましては、2月か</p>

	<p>ら外国人団体客のキャンセルが増加し、3月には個人客からのキャンセルが増加しました。4月に入り乗船客が更に減少したため、4月12日から24日の間は1便減の間引き運行を実施し、4月25日から6月30日までは1隻で運行を実施しています。それに伴い、船内の売店及び特別室の営業は休止しています。</p> <p>予約のあったツアー客や団体客については、2月から9月までの間で、6月20日時点では、バスが約500台、約20,000人のキャンセルがあったと伺っております。昨年と客数で比較した場合、3月は-61.9%、4月は-92.3%、5月は-96.1%となっており、大幅に減少しています。</p> <p>感染防止対策としては、発熱や強いだるさ、息苦しさがある方は乗船できないなどの案内と合わせて、旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに従い、社員の始業前検温やマスク着用、飛散防止シートやアルコール消毒液の設置、換気対策、手すりやドアノブ等の定期的な消毒等を行っています。</p> <p>【臨時の協議事項】 (1) 公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて ※加藤議長から説明【参考資料】</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>本日、参考資料を配布させていただきましたが、先程、公共交通事業者様からの報告にもあったとおり、現在の危機的状況を各市の交通会議で世間や国・県に訴えかけるアピールをした方がいいのではないかと考えており、例として南信州の協議会で6月16日に採択した緊急アピールの事例を資料としております。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で利用者が減少しておりますが、少なくとも3割の人は、このような状況でも公共交通を利用する必要があり、公共交通を守っていく必要があります。バスなどは、そもそも赤字で運行している状態であるものが、一度、立ち行かなくなってしまうと、二度と事業を起こすことが難しい状況となっております。今回の緊急アピールでは、感染防止策を徹底することや国や県に支援を要請していきたいという内容になっております。そのため、今回のこのような緊急アピールを皆さんに御理解いただいて、田原市地域公共交通会議として、宣言することについて採択できればと考えておりますが、ご意見等がありますでしょうか。</p> <p>採択いただければ、文面については、事務局で作成していただき、皆さんに御確認いただければと思います。</p>
<p>坂本委員 (豊鉄バス)</p>	<p>このようなアピールが各地から出ているということは、私も耳にしております。この地域におきましては、各市さんからの支援もあり、豊鉄バスも公共交通機関としての役割を果たしておりますが、利用者が減少する中で、国が行う雇用調整助成金を利用すればいいんじゃないかという意見もあります。しかし、もともとバスの運転手不足であり、今のダイヤを限られた人員で維持していく必要があります。この助成金については、私の知る限りでは、バス会社が使っているというのは聞いたことがありません。このような状況を皆さんに御理解いただければと思います。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>こういう現状を知ってもらうことも大切だと思います。また、感染防止対策をしっかりやっけていただいている中で、現状、電車やバス車内で感染があったという事例は聞いていません。しかし、やはり公共交通は怖いよねという意識があると思いま</p>

	<p>す。そのためにも、このようなアピールで感染防止対策をしっかりと行っていることなども周知できればと思っています。</p> <p>※協議事項 [承認]</p> <p>(3) 第2次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通網形成計画）における実施計画に関する令和元年度の主な取組について ※事務局より説明【資料2】</p>
<p>光部委員 (老人クラブ)</p>	<p>ぐるりんバスの利用促進の取組の中で、高松老人クラブの総会にてPRとありますが、総会は中止になりましたが、何で一覧に載っているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらについては、各コミュニティ協議会からの報告をもとに作成しておりますが、実施予定のものが中止となったことを、事務局側でしっかりと確認を取っておらずに載せてしまったものとなるかと思えます。大変申し訳ありませんが、後日、確認を取り、資料を修正させていただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>光部委員 (老人クラブ)</p>	<p>ぐるりんバスの利用者が少ないのであれば、いつでもどこでも手を上げれば、乗れるような仕組みができないのかと思います。現実には難しいかもしれませんが、お年寄りには、バス停までの距離が歩けないということもありますので、重い荷物などを持っているときは、ここで降ろしてくださいと言った場所で降りられると、とても便利だと思います。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>このような仕組みをフリー乗降といいまして、何十年も前からやっている地域はありますが、実態としては、だいたい同じ人が同じ場所で乗り降りすることになります。そうであれば、停留所を作った方がいいよねということになり、三重交通では、4割ぐらいがフリー乗降でしたが、現在では、停留所を作ったことにより、ほとんどフリー乗降は無くなっています。また、警察側から見てもバスは停留所に停まるもので、降りたい場所がカーブだったりすると事故が起きる可能性も高くなってしまいます。そういったことから、現在では停留所を設置することが主流となっておりますので、必要があれば、停留所を設置する方が良いのではないかと考えております。</p>
<p>鈴木委員 (運輸支局)</p>	<p>(4) 豊鉄バス伊良湖本線支線のダイヤ変更及びバスロケーションの導入について ※豊鉄バス(株)坂本委員より説明【資料3-1、3-2】</p> <p>伊良湖本線支線の路線の再編についてですが、国や県が補助金を出している系統については、愛知県のバス対策協議会から変更を申請する必要があります。コロナの影響もあり、現状、協議会が開かれていませんので、しっかりと県と調整をしていただければと思います。</p>

<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>豊鉄バスさんが路線を変えたいということであれば、厳密には、この会議で報告しなくても変えることができます。しかし、伊良湖本線支線は、赤字路線で国と県から赤字額の半分ずつ補助をもらっており、限度額があるので、足りない分は市から補助を受けて運行しています。今後、愛知県の協議会で承認を得られれば、問題ないと思いますが、伊良湖本線支線は、田原市にとって重要な路線であるため、私はこの会議で報告すべきだと考えており、大変ありがたく思います。</p> <p>また、豊橋から伊良湖岬まで行けなくなったことにより、保美での乗り換えが必要になったりだとか、運賃などの特例はあるのでしょうか。</p>
<p>豊鉄バス 随行者(縄稚)</p>	<p>基本的には、豊橋駅から電車に乗っていただいて、田原駅から乗り継いでいただければ、乗継割引もあり、現状と同様の運賃で乗車することができます。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>こちらの資料については、申請中であると思いますので、HP等に出す際は、(案)だとかをつけていただければと思います。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>(5) 田原市大規模災害時公共交通行動方針の策定及び交通事業者との大規模災害時における支援に関する協定の締結について ※事務局より説明【資料4-1、4-2】</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>東日本大震災の後に国土交通省でもこういった取組を進めていく必要があるということになっています。昨年は大洪水などもありまして、改めて全国的にも交通事業者さんと、このような協定を結ぶ必要があるという流れになっています。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>(6) 新型コロナウイルス感染症対応田原市公共交通確保維持支援事業について ※事務局より説明【資料5】</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>私もこの件については、報道で知っておりました。このような支援については、私を知る限りでは、東三河が全国で一番早かったのではないかと考えております。先ほどの緊急アピールにも繋がるものだと思います。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>[3 協議事項] (1) 令和元年度事業実績・収支決算(案)について ※事務局より説明【資料6-1、6-2】、天野監事から監査報告</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>田原市の場合、以前は、ぐるりんバスの委託料を協議会に入れて、そこから支払いを行っていましたが、昨年10月から市との契約に変更したところが大きく変わったところだと思います。まだ決まっていますが、ぐるりんバスはフィーダー補助金をもらっていますが、今年の11月頃の法改正により、申請方法が変更になるかもしれません。</p>

	<p>※協議事項 [承認]</p> <p>(2) ぐるりんバスサンテパルク線の一部ダイヤ変更について ※事務局より説明【資料7】</p>
加藤議長 (名大教授)	<p>この変更は、中学生の下校対応ということですが、カリキュラムの変更で対応できないのでしょうか。それとも部活動の時間が関係しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的には、部活動の時間を調整してもらっていますが、現行のダイヤである と、11月下旬にどうしても日没となってしまいますので、学校側と調整しまして、変更を行うものです。</p>
	<p>※協議事項 [承認]</p> <p>(3) 田原市生活交通確保維持改善計画（案）について ※事務局より説明【資料8】</p>
光部委員 (老人クラブ)	<p>事業の目標のところに、ぐるりんバス・ぐるりんミニバスの1便あたりの利用者数の 目標が書いてありますが、童浦線や表浜線は目標を超えていますので、路線ごと に目標を決めてもいいじゃないでしょうか。</p>
加藤議長 (名大教授)	<p>これについては、仰るとおりなんですけど、他市では、路線ごとに目標値を決めたり、 前年との比較を目標にして、毎年度変えているところもあります。しかし、田原 市の場合では、戦略計画に目標値が記載されていますので、それを記載してい るということになります。また、計画については、この会議で決めていますので、皆 さんで協議して、その目標を修正することも可能だと思います。</p>
事務局	<p>現在の戦略計画については、平成26年に策定、平成27年に一部改訂と平成3 1年に一部見直しを行っており、目標については、そこで決めさせていただいて おります。</p>
加藤議長 (名大教授)	<p>童浦線については、臨海の従業員さんの影響も大きく、コロナなどの影響を受け やすい路線であるため、路線ごとの目標といっても注意が必要な場合もあります。 また、この目標値については、これを下回ると路線の変更や廃止といった議論に なる最低限の数値という意味合いもありますので、当然、この目標値を超えて欲し いものでもあります。</p>
鈴木委員 (運輸支局)	<p>車両購入の記載の部分についてですが、購入予定時期が分かるような記載にし ていただくと、ありがたいと思います。また、耐用年数は、各運行事業者さんによ り、違ってくるとは思いますが、どのぐらいを予定していますか。</p>
事務局	<p>現時点では、予算の承認を受けているわけではありませんので、予定となります</p>

<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>が、令和3年度の12月から1月に導入を予定しております。</p> <p>入替車両については、昨年度末時点で走行距離が98万キロ、75万キロを超えるような車両となっております。耐用年数については、ある程度の目安を持っていますが、日頃から豊鉄ミデイさんにしっかりと点検をしていただいて、走らせている状況であります。</p> <p>内容の細かい修正は、事務局に一任するというので、今年度については、7月末までに国へ提出していただければと思います。</p> <p>※協議事項 [承認]</p> <p>[4 その他]</p> <p>(1) 意見・情報交換</p> <p>(特になし)</p> <p>(2) 次回の開催予定について</p>
<p>事務局</p>	<p>次回は12月または1月の開催を予定しております。主な内容につきましては、「地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について」を議題とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>